

平成20年度事務事業評価表

作成日：平成20年7月1日

評価対象年度：平成19年度				管理	3-2-1-3
事務事業名 国民健康保険退職被保険者等保険税還付金事務事業				部等名	総務部
予算科目	会計	科目コード	予算細目名	課等名	税務課
	国保事	02-090102001	細々目名	係等名	市民税係
政策体系	基本目標	3	共に支えあうやさしいまちづくり		
	施策	2	国民健康保険事業・老人保健事業（医療も含む）の充実		
	基本事業名	1	国民健康保険税の適正課税		

事業概要 実施内容	(事業の内容) 国民健康保険税退職被保険者が資格を喪失した場合、その世帯主に国民健康保険税を還付する事務 (実施内容) 国民健康保険加入資格の電算入力 国民健康保険資格喪失届出の受付 納税者への還付通知				
根拠法令等	本宮市国民健康保険税条例	事業の種類	<input type="checkbox"/> 維持管理事業 <input checked="" type="checkbox"/> 義務的事業 <input type="checkbox"/> その他事業 <input type="checkbox"/> 事前評価 <input checked="" type="checkbox"/> 事後評価		

重点事業区分	<input type="checkbox"/> 重点事業	事業実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 単年度 <input type="checkbox"/> 期間限定 (年度 ~ 年度)			
決算額	1 退職被保険者等保険税還付金	73,100 円	11 消耗品費	円	15 工事請負費	円
	7 賃金	円	12 役務費	円	18 備品購入費	円
	8 報償費	円	13 委託料	円	19 負担金補助及び交付金	円
	9 旅費	円	14 使用料及び手数料	円	合計	73,100 円

1. 事務事業の現状把握 (Do)

(1) 事務事業の目的と手段

対象 (誰を、何を)		国民被保険者			
手段 (事業の具体的な内容、手順等)		国民健康保険資格喪失届出書による還付対象世帯の把握、還付額計算、還付通知書の送付、税変処理			
意図 (対象を、どのような状態にしたいのか)		適正課税			
		活動指標名・式 (アウトプット)	活動の大きさを表す指標		
		指標 (1) 名称	国民健康保険異動届出書処理数		
		指標 (2) 式			
		成果指標名・式 (アウトカム)	意図の達成度を表す指標		
		指標 (1) 名称	国民健康保険加入者数		
		指標 (2) 式			
事務事業を実施 (意図を実現) することで、施策にどのように貢献していますか					
税の公平適正化により納税意識を高め、国保財源の確保を図る。					

(2) 指標・総事業費の推移

区分	単位	年度 (実績)	年度 (実績)	18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (見込み)	年度 (最終目標)
指標	活動指標 (1)	件			5	5	
	活動指標 (2)						
	成果指標 (1)	人			5	5	
	成果指標 (2)						
投入量	事業費	国・県支出金	千円				
		地方債	千円				
		その他	千円				
		一般財源	千円			73	150
	事業費計 (A)	千円			73	150	
	職員数	人			1	1	
	人件費	人件費平均額 (年)	千円			8,373	8,373
人件費計 (B)		千円			8,373	8,373	
総事業費 (A+B)		千円			8,446	8,523	

(3) 事務事業の環境変化・市民の意見等

、事業の開始時期から、または5年前と比べ事業を取り巻く環境(対象者・法令等・社会情勢)はどう変わりましたか？
少子高齢化が進み、今後ますます医療費の増大が見込まれ、従来からの市町村単位での運営方法では限界にきており、より広域的な中で運営すべき時期にきている。
この事業に対して、関係者(市民・議会・事業対象者・利害関係人等)からどんな意見や要望が寄せられていますか？
課税の仕組みが複雑で理解しにくいし、税に不満がある。

2. 事務事業の評価 (Check)

[目的妥当性評価]		
施策体系との整合性 <input checked="" type="checkbox"/> 有 【理由】 <input type="checkbox"/> 無 【理由 , 改革改善案へ】	市が行なう必要性 <input type="checkbox"/> 有 【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 無 【理由 , 改革改善案へ】	対象・意図の妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有 【理由】 <input type="checkbox"/> 無 【理由 , 改革改善案へ】
公正・適正な課税に結びつく	県・国といった、より広域的な形で行うべきである	被保険者の適正な管理を実現するため、対象・意図は妥当である
[有効性評価]		
成果の向上余地 <input type="checkbox"/> 有 【理由 , 改革改善案へ】 <input checked="" type="checkbox"/> 無 【理由】	事業の中止・廃止による影響 <input checked="" type="checkbox"/> 有 【理由】 <input type="checkbox"/> 無 【理由 , 改革改善案へ】	類似事業との統廃合の可能性 <input type="checkbox"/> 有 【理由 , 改革改善案へ】 <input checked="" type="checkbox"/> 無 【理由】
被保険者の資格取得喪失等の手続きが徹底されるかどうかは、被保険者の届出によるため、向上の余地はない	医療制度の改廃等が生じると被保険者に何らかの影響が出る	類似事業なし
[効率性評価]		[公平性評価]
事業費の削減余地 <input type="checkbox"/> 有 【理由 , 改革改善案へ】 <input checked="" type="checkbox"/> 無 【理由】	人件費の削減余地 <input type="checkbox"/> 有 【理由 , 改革改善案へ】 <input checked="" type="checkbox"/> 無 【理由】	受益者負担の適正化余地 <input checked="" type="checkbox"/> 有 【理由 , 改革改善案へ】 <input type="checkbox"/> 無 【理由】
事業費の大半が異動処理・賦課事務のための委託料で占められているため、これ以上のコスト削減は困難。	合併による職員の負担増により人件費の削減は困難	給付費の抑制や基金・繰越金の効率的運用により、税率等の見直しが可能。

3. 評価結果の総括と今後の方向性

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括 (振り返り、反省点)																					
目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある 公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある	国保運営も少子高齢化の進行、医療費の増大で、厳しい財政運営を強いられている。																					
(3) 今後の事業の方向性	(5) 改革・改善による期待成果																					
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業の統廃合 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 (従来の通りで特に改革改善しない)	廃止・休止の場合は記入不要 <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
(4) 改革改善案の概要																						
国保の運営主体を県・国といった従来よりもより広域的な範囲へ移行することにより効率的運営が可能となる。																						
(6) 改革改善を実現する上での解決すべき課題と解決策																						
制度のあり方や税に対して理解を得たうえで、被保険者の健康に対する意識の高揚を図ることが重要。																						

4. 事務事業の2次評価結果

2次評価対象

2次評価対象外

(1) 2次評価者としての評価結果	(2) 評価結果の根拠と理由																					
目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある																						
(3) 今後の事業の方向性 (改革改善案)	(4) 改革・改善による期待成果																					
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業の統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 (従来の通りで特に改革改善しない)	廃止・休止の場合は記入不要 <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
(5) その他、2次評価会議で指摘された事項																						